

山形市立図書館

2019年

市民の出版物展

「ふるさとの

現在・過去・未来」

2020年2月22日(土)

～3月22日(日)

月曜休館

(2月24日、28日(整理休館)、3月2日、9日、16日は休館)

午前9時30分～午後5時

会場：山形市立図書館 2階展示ホール

【主催・お問い合わせ】

990-0035

山形市小荷駄町7-12

山形市立図書館

電話 023-624-0822

【展示内容】

2019年1月～12月までに山形市立図書館が収集した郷土資料を展示します。

- ・市在住、出身者等の一般図書、児童図書、学校の文集等の教育関係出版物
- ・市内で発行された雑誌 等多数

“写真短歌”への誘い = 年間作品展 (12作品) =

・・・“写真短歌”への誘い・・・

何気ない一枚の写真に歌を添えて発信力が増す魅力をご紹介します。

写真を永年続けてきた私が短歌を嗜むようになり、写真も短歌もそれぞれ作り方に共通点があると気づきました。そしてこの二つを一緒にしたら面白いと考えて「情景を切り撮って詠う」写真短歌として紹介しております。

この度、山形市立図書館様のはからいでこの場をお借りして【写真短歌】を紹介させていただくことになりました。2～3ヶ月毎の入れ替えを予定しております。

感想などございましたら下記までご一報願います。

問い合わせ先・連絡先：山形市西田1-12-10 黒沼 貞志 TEL 090-2522-4548 Mail sks@ek-solutions.org

写真短歌



写真提供：黒沼貞志さん 撮影：平成27年7月20日撮影「ぐんまの森」展覧会（山形市立）

写真短歌



写真提供：黒沼貞志さん 撮影：平成27年11月10日撮影「ぐんまの森」展覧会（山形市立）

写真+短歌 奥深さ創出

黒沼さん、山形で作品展



写真と短歌を組み合わせた作品を展示している黒沼貞志さん =山形市立図書館

山形市西田十丁目の黒沼貞志さん(71)が、自ら撮影した写真に自作の短歌を添えた「写真短歌」の創作に励んでいる。市立図書館で作品を展示しており、「関心を持って人が増えてほしい」と話している。

黒沼さんは大学時代から写真が趣味で、個展を開いたこともある。9年ほど前から短歌を始め、写真と組

めた作品2点を本棚の上に飾っている。山形市の富神山で小さな春蘭を撮影した写真には「春蘭にまた逢えたねと活かけぬ春また浅き山路の片方」と添え、春の足音を感じさせる作品に仕上げた。

黒沼さんは「写真と短歌を一緒にする人は少ないので、作品をきっかけに少しでも広まれば」と話す。

同館の横倉明史館長は「図書館はいろんな文化を創造する場でもある。さまざまな文化情報の発信を続けたい」としている。

黒沼さんは季節に合わせて、2カ月に1回程度のを1人で展示作品を入れ替えている。(小田信博)